



いずみ

令和5年4月28日発行

<学校教育目標>
かしこい子
やさしい子
たくましい子

学校HP



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

令和5年度の和泉小学校

教務主任 堀口 剛

新年度が始まり、一ヶ月が経ちました。子供たちは新しい学年にも少しずつ慣れてきて、元気に学校生活を送っています。

さて、今年度の和泉小学校はどのような教育活動を進めていくのか、どのように子供たちを育成するのかを具体的に表し、計画したものとして「教育課程」というものがあります。校長の経営方針に基づいて作成した教育課程を教職員全体で共通理解し教育活動を進めております。また、教育課程や和泉小学校の目指す最上位目標（ゴール）についても児童、保護者、地域の皆様にご理解、ご協力いただき、皆が安心して学校生活を送ることができる学校を目指してまいります。

今年度も和泉小学校のベースとする児童の姿は「よりよい自分であろうとし、前向きに生きる子」です。変化の大きいこれからの時代を乗り切るためには、よりよい自分の在り方(Well-being)に向けて前向きに成長することができる児童になってほしいという思いがあります。

そのために必要な3つの力として、本校の教育目標をもとに以下のように捉えています。

- 考える力…よりよい自分であるとはどんな自分かを考えることができる。
- 共感する力…友達の考えるよりよい自分を受け入れ、共感することができる。
- やり抜く力…よりよい自分の在り方を目指す意識を持ち続け、何事も前向きにやり抜くことができる。

ゴールを目指すためには、まず子供たちが自分たちの学級、学校（居場所）をどのようなものにしていきたいかを考え、行動に移すこと「やってみよう」から始まります。次に、やってみた結果「次はどうすればよいか」を考えて、再び行動に移すことが「できた、できるようになった」につながります。そして、学校（自分たちの居場所）をよりよいものにしていくという意識から自治意識が高まり、さらに「やってみたい、やってみよう」という前向きな取組が増えるとともに学び手が主体となった「全員にとっての居場所」ができます。

昨年度は、委員会活動では、ノーチャイムの取組やきずなみどり畑（学校の農園）の活動など子供たちが主体的に取り組むことができました。今年度は、5月に行われる運動会で各委員会が中心となって運営をしたり、いずみ班遊びでは、6年生が中心となって計画を立て、たてわり班で楽しく遊んだりします。また、各学級では、よりよい学級を目指して工夫して係活動が行われています。子供たちが自分たちで考えて活動できることがさらに増えていきそうです。

今年度も子供たちが大きく成長できるよう教職員一同努めて参ります。子供たち同士がお互いを認め合い、よりよいものを目指していくためには「対話」が必要です。私たち教職員も児童との対話、職員間での対話を大切にしていきます。また、保護者、地域の皆様との対話を通して本校のよりよいあり方を考え、子供たちの成長につなげていきたいと考えております。ご協力よろしくお願いたします。

5月の生活目標

言葉づかいに気を付けよう

- 友達の名前に「さん」をつけて呼ぼう。
- 「です」「ます」をつけて話そう。

5月の安全指導

気持ちのよい挨拶

- 相手の心に響く、気持ちのよい挨拶について指導します。ご家庭でも気持ちのよい挨拶に取り組んでほしいと思います。